

# コンクリートの維持管理支援ツール (維持管理編) サンプルデータ

出力例

中性化既設

竣工後 30 年経過した既設構造物について

詳細点検を行った例

## 目次

1章 中性化	1
2章 維持管理における条件	2
3章 詳細点検に基づく記録	3
4章 新設-初期点検の項目、方法および得られた結果	4

# 1章 中性化

## 与値

項目		値
要求性能	安全性能	加速期後期
	使用性能	加速期前期
	美観・景観	進展期
予定供用期間		50年
経過年数		30年
劣化が確認		できる
変状		浮きやはく離・はく落が見られる(部分的)
鋼材断面の減少		確認できない

## 判定

項目	状態	判定
現況	加速期後期	NG

## 2章 維持管理における条件

項目	内容	
維持管理区分	区分B	
予定供用期間	50年	
要求性能とグレード	安全性能	状態II-2
	使用性能	状態II-1
	第三者影響度、美観、景観	状態I-2

### 3章 詳細点検に基く記録

	記録の項目			
	担当	維持管理者	土木 太郎	
		点検実施者	混擬土 次郎	
		記録者	木入 四郎	
	構造物の諸元等	周辺環境	内陸部 詳細は別添付図面（平面図など）	
		維持管理区分	区分B	
維持管理実績		初期点検に基づくものであり過去に		
点検	点検の種類	初期点検後、詳細点検		
	時期	2000年12月1日		
	位置	点検対象構造物	橋	
		点検部材	RC-T桁底面	
		点検の詳細な位置	詳細は点検結果報告書	
	項目	環境条件、かぶり、コンクリート表面の変状、漏水、変形、初期点検） コンクリートの水セメント比（または水結合材比）、混和用の有無、種類とその量・・・		
	方法			
結果				
劣化予測	予測の方法	中性化進行予測 鋼材の腐食進行予測		
	結果	点検時	潜伏期	
		予定供用期間終了時	加速期	
評価および判定	評価および判定の方法	安全性能、使用性能、第三者影響度および美観・景観に対し、中性化の進行およびそれに伴う鋼材腐食を予測すること施。		
	劣化のグレーディング	点検時	、予定供用期間終了時には加速期（ 予定供用期間終了時には加速期（状 。	
		予定供用期間終了時		
	結果	点検時	現状では要求性能を満足しているが 定供用期間終了時には、美観の低下 三者への影響が生じることが懸念さ とから、適切な時期に対策の要否と 内容を決定するための詳細点検が必	
		予定供用期間終了時		
対策	担当	設計責任者		
		施工責任者		
		施工管理責任者		
	対策の方法	---		
施工記録	---			

## 4章 新設-初期点検の項目、方法および得られた結果

項目	方法	結果	
水セメント比		%	
セメントの種類			
混和材の有無・種類・量		有無	
		種類	
		量	
混和剤			
設計基準強度		N/mm <sup>2</sup>	
スランプ		cm	
空気量		%	
初期塩化物イオン濃度			
かぶり			
環境条件		塩害	
		凍害	
		乾燥	
初期欠陥			
漏水			
変位・変形			
鋼材の腐食状況			
中性化深さ			
圧縮強度		N/mm <sup>2</sup>	
鋼材の腐食量			
ひび割れ			
はく離・はく落			
錆汁			
遊離石灰、変色			
自然電位			